



一般質問

3月定例会



3月4日～6日の3日間にわたり、15名の議員から市政に対する一般質問が行われました。（掲載は次ページから。掲載の順番は質問順です。）
掲載内容は、一般質問および答弁内容の一部を抜粋し、各議員が作成した原稿を基に編集委員会において確認し編集しております。
なお、議長につきましては申し合わせにより、任期中は一般質問は行わないこととしております。

本会議を傍聴する皆さまへお願い

本会議を傍聴する場合は、傍聴規則を守っていただき、拍手その他の方法により公然と可否を表明したり、議事の妨げとなるようなことのないようご協力ください。
なお本会議の様子は「iネット飯山」でも放送をしております。

◆飯山市議会本会議
動画配信しています◆

■YouTube
「飯山市議会」チャンネル

こちらの二次
元コードから

4月臨時会概要

4月22日から27日までの6日間の日程で臨時会が開かれ、事件案13議案が市長から提出されました。
議案は、予算決算常任委員会および総務文教常任委員会にそれぞれ付託され、各常任委員会において審査が行われました。
その後の本会議においては議案の審査報告が各常任委員長から行われ、本会議での採決の結果、すべての議案が原案のとおり可決・承認されました。

令和8年4月臨時会において 審議された議案

- 【事件案 13件】
- ◇財産取得について
 - ◇専決処分事項の承認を求めることについて
(令和7年度飯山市一般会計補正予算)
(各特別会計補正予算(7件))
(水道事業会計・下水道事業会計補正予算)
(令和8年度飯山市一般会計補正予算)
 - ◇専決処分事項の承認を求めることについて
(飯山市税条例の一部を改正する条例)



戸狩観光協会との意見交換会

市民と議会との 意見交換会を開催

5月1日に戸狩観光協会との意見交換会を開催しました。
30年以上続く「戸狩自然体験教室」について、「教室の受け入れや活動を継続していくために」を議題として意見交換を行いました。
課題として、民宿の事業継承や物価高騰の影響があげられたほか、行政とのPR連携や公共施設の有効活用、バス旅行に対する補助金の継続について等の意見が出されました。

一般質問

人口減少対策・
任期付職員の方
例・施政方針



松本淳一議員

問 出産できる年齢層の女性人口は毎年約100人減少している。最近3年間の出生数の大きな減少をどう考えるか。

答 コロナ禍における行動制限等の影響による婚姻数の減少、20代後半から30代の女性人口の減少が要因と考える。

問 出生数の減少に流産の増加を疑ったがいかがか。

答 2020年度から5年間の状況を確認したが、流産の増加は認められなかった。

問 12月議会では「任期付職員」の条例は「運用に懸念」で否決されたがどう考えるか。

答 具体的に問題点をお示しただけならば、その課題を解消するための具体的な方策を検討することができたと考ええる。

問 施政方針にある農業者支援は何を指すのか。

答 本市の実情に沿った多様な農業が共存できる形を目指すべきと考ええる。

問 市はジャンプ台のサマー化をどう考えているか。

答 大会誘致と多様な利活用による地域経済への波及効果、地域活性化に有効な投資と考える。

旧城南中学校跡
地について問う



山崎武雄議員

問 跡地の校舎等は約60年が経過し、老朽化が進んでいる。なぜ取り壊しとせず、8億円という一般財源を使って改修したのか。

答 市が一定の基準のもと財政負担を行わなければ事業化に結びつかないと判断した。

問 土地を売れば固定資産税等が市に入る。土地を貸して営業行為を支援すれば民業を圧迫する。この市のリスクについてお尋ねする。

答 賃貸借契約とすることで、契約条件の調整や公共資産の活用による一定の制限をかけることができる。当初から売却により所有権を移転してしまつと、売却後のリスク管理はかなり難しくなると考える。

問 公募において広い跡地を1者独占とした理由は。

答 公募要綱では、共同事業体のような複数の事業者による共同提案について制限は設けておらず、1者となったのは公募の結果である。

問 議会への説明が不十分なまま事業を進めている理由は。

答 既に10年が経過し、地区から早期活用の要望があった。

特定地域づくり
事業協同組合と
駅前ホテル



佐藤正夫議員

問 事業協同組合とは何か。市は設立にどの程度関わるのか。

答 市内の事業者が事業協同組合を設立し、雇用した労働者を組合員である複数の事業者に派遣するという組合制度。人件費と運営費の2分の1を国と市が交付金で補助する。設立には4者以上の組合員が必要。市は設立事務や運営の支援に職員を派遣できる。

問 事業協同組合で社会保険をかけるなら、仕事のない時も保険をかけねばならないが。

答 仕事がない期間は国と市の交付金も出ないため、そのような期間がないようにしたい。

問 軌道に乗るに何年もかかる。決意をお聞かせ。

答 早期に軌道に乗せられるよう全力で取り組む。

問 機械の貸し出しは可能か。

答 未検討だが、検討したい。

問 駅前ホテル裁判の都度、議会に報告されるはずが、私が一般質問で質問する以外に説明がない。現状はどうなっているか。

答 あまり進展はない。書面により、双方で主張を行っているところである。

飯山シャUTTエ
公共交通・中
学
校通学方法



村松正勝議員

問 飯山シャUTTエのナシヨナルトレーニングセンター指定について考えを伺う。

答 飯山市にとって大変有益。そのためにはノーマルヒルのサマー化を含むシャUTTエの改善・整備が重要である。

問 市が連携協定を結んだが、ファーストは、どのようなスポーツイベントを行うのか。

答 トップアスリートを招き、シャUTTエのアウトラン部分等で市民参加イベントを検討。

問 1市2村のスキークラブでジャンプ協力体制覚書を締結したが、本市の関わりは。

答 スキークラブとの連携・協力をさらに図る。現時点で金銭的な支援については話はない。

問 従来の乗台タクシーと相乗りタクシーの今後のあり方は。

答 実証実験等の結果を基に、飯山市地域公共交通会議において課題の整理と改善点などの洗い出しを行い、総合的に検討する。

問 城南中学校校区北部地域における今後の通学方法は。

答 特に冬期間の下校時の課題を聞いている。現状を総合的に判断検討し、善処したい。

市政運営・市長
公約について



吉越利明議員

問 駅前ホテルの訴訟や旧城南中学校跡地利用の公募が突如始まるなど、市民との信頼関係や市政の透明性に大きな影響を与えたと考える。混乱の責任をどのように受け止めているか。

答 全て私に責任があるのかのように言われて、その混乱に対してどんな責任を取るのかと言われても答えようがない。

問 地域おこし協力隊の任用は深刻な課題を抱える分野に特化し募集をするなど、より戦略的な取り組みが必要と考えるが。

答 貴重なご意見として受け止め、検討を進めたい。

問 市長は小中学校の給食費無償化を公約に掲げていたが、負担減にとどまり、国が賄うべきとの見解である。これは公約が達成できないとの答弁であり、国への責任転嫁だと感じる市民もいると思ふが。

答 国が賄うべきだということがおかしいと市民が感じているとは、私には全く思えない。私も必死の努力は、市民に必ずや評価されると自負を持ってやっている。

移住定住・イベントと観光施策・斑尾高原の水量



高澤富士子議員

問 飯山市奨学生就職応援金の周知方法は。

答 市のホームページや市報での周知、各種SNSやポスター掲示、若者住宅等へのポスター掲示を実施している。

問 利用者の内訳等の検証は。全て企業の正規雇用者、起業者、認定農業者はいない。

答 「特定地域づくり事業協同組合」での雇用と採用とのミスマッチへの対応策は。

問 事務局長を置き、調整を行っていたと予定である。

問 観光戦略を立てるにあたり、各種イベント来場者のデータ分析は行っているか。

答 アンケートで年齢や居住地、交通手段等11項目を調査。宿泊地については調査外。

問 観光施策においてもDX活用が必須と考えるが見解は。

答 キャッシュレス決済機器の導入補助を実施。またIT化が進みすぎて、利用者が不便に感じるのではないようバランスを見ながら進める。

問 今冬、斑尾高原で発生した水位低下の今後の対策は。

答 代替水源を確保する事業を進めており、抜本的に供給の安定化を図られる見込み。

学校給食・不登校支援・農業存続・平和を守る



荻原章一議員

問 学校給食では公費負担9割を予算化。完全無償化に必要な不足分はどのくらいか。

答 残り1割分の負担額は約850万円と見込む。

問 不登校の児童生徒への公的支援のあり方や今後の展望はどうか。

答 岳北地域においてもフリースクールが必要と考えている。支援のあり方について検討したい。

問 米作りの存続は地域の存続そのもの。その点で予算編成上留意したことは何か。

答 農業機械導入支援事業。対象は農業法人から小規模農家まで幅広く設定し、全ての農家を支えていく。他に、学校給食への特別栽培米の提供を拡大することなど。

問 市民の平和的な生活を存続させるために、国の軍事費のあり方や憲法9条について、市長の政治的見識を伺う。

答 教育や農業への支出をもっと増やさない限り、軍事費を増やしても国は守れない。憲法を遵守すべき立場にあり、戦争を二度としないということが一番大事なこと。

市政の基本姿勢と8年度予算の課題について



小林喜美治議員

問 令和8年度に向かう市政の基本姿勢について

答 8年度の施政方針では、市長就任以来3年4カ月が過ぎ、公約実現に向けて着実に推進に尽くしてきたことが述べられている。雪かき支援制度の創設、子ども医療費の完全無料化、小中学校給食費7割軽減など前進を図ってきたことは評価する。現在の市政をとりまく状況を見ると様々な課題が山積している。この課題にどう応えるのか、新年度に向かう市長の政治姿勢を伺う。

問 引き続き本気で聞く、本気で語る、本気でやる姿勢を旨とし、公約実現、市政の課題解決に取り組んでいく。

問 令和8年度の予算の課題

答 過去最高の予算となった要因と、長期財政推計と将来負担比率など今後の財政の見通しについて伺う。

問 将来負担比率については、具体的な数値として示すことは難しいが、令和9年度以降の長期的な視点では、起債借入額の縮小が想定され、財政の健全化が保たれていく見込み。

新年度予算と水道水の検査について



常田徳子議員

問 介護職員初任者研修の対象者と資格取得との関係は。

答 対象は市内に住所がある方で介護職に興味がある方や介護の基本を学びたい方、市内の介護事業所に就労しながら受講を希望する方。介護福祉士国家試験の受験資格の実務者研修が必要な450時間のうち130時間が免除される。

問 特別栽培米について、学校給食だけでなく、乳幼児期からの食の重要性を踏まえ保育園・幼稚園での提供も検討していたかどうか。

答 当然検討する。

問 近年問題となっている、水道水中の有機フッ素化合物であるPFAS（ピーファス）について、検査の状況と結果は。

答 27か所ある水道水源に対して、PFAS類の検査を令和6年度から年に1回実施。検査結果は基準値以下である。

問 水質検査結果等分かりやすい情報発信への取り組みは。

答 検査結果はホームページで公表しているが、安心して水道水をお使いいただけるよう、分かりやすく親しみやすい情報の発信に努めていきたい。

スポーツに関する連携協定について



渋川芳三議員

問 今回の協定は各種イベントを通じた冬の競技、特にジャンプ競技のすそ野拡大を図ることを主な目的とした協定か。

答 冬の競技だけでなく各種スポーツイベントを通じ、市民スポーツの振興を促すとともに飯山シヤンツェの多様な利活用の検討に資するための協定。

問 トップアスリートが飯山に来るための経費はどちらが負担するのか。

答 令和8年度当初予算の中に66万円を計上している。

問 昨年3月にある学校法人と連携協定を締結した。協定の中に「教育機関の設置に関すること」の事項があるが、これも含め連携協定の効果はどうか。

答 生徒向けのパソコンやタブレットについて、多くの台数が必要と聞き、市が連携協定を締結している市内のパソコンメーカーを紹介した。

問 連携事項の中に「信州やまなみ国スポに関すること」とあるが、この連携は進んでいるのか。

答 現時点でまだ具体的に相談している状況ではない。

一般質問

市民の声を聞く



高橋春三議員

問 市民協働推進事業、いわゆる「くじ引き民主主義事業」は、市民の声を聞く体制を整えることとして行政や議会にとつて重要。どのようなことから発想されたのか。

答 審議会等の委員の選出において、公募や団体の推薦、行政の指名では特定の参加者に偏る傾向にあると感じていた。当手法では多様な住民の参加が可能となる。市民の政治への関心を高め、意見をしっかりと聞く場としたと考えた。

問 多方面から意見を聞く機会が多くなるなら、例えば市長給与や議員報酬や定数の市民感覚調査とか思いつくが、どのような事業をお考えか。

答 予想されるテーマは、子育て、介護、防災、集落の持続、公共交通等。

問 どのような過程を経て政策に反映されるのか。

答 会議の結論を参考にさせていただき、部内で政策の案を作り予算化したり、あるいは条例例化する場合には議会の承認を得て実現できるものとなる。また行政部内の判断で実現できるものもある。

ジャンプ台改修と利活用・観光と経済効果



高橋達幸議員

問 人工芝や関連施設の経年劣化はそれぞれメーカーから15年とされている。ノーマルヒルを人工芝化した場合、3つのジャンプ台の経年劣化による改修費の金額は。

答 現時点での想定額はスモールヒル・ミディアムヒルで5億8千万円。ノーマルヒルが8億円、計13億8千万円。

問 ジャンプ競技場の将来像として観客席やスロープカーの延長・ジャッジハウス屋上テラス等、3億2千万円程が想定されているが、いつ工事を実施する計画なのか。

答 現時点で追加工事の計画はなく、3か年計画にも含まれない。

問 戸狩温泉スキー場は地域全体が転換期を迎えている。戸狩野沢温泉駅からスキー場周辺までのビジョンをどうお考えか。

答 戸狩温泉地域全体が転換期を迎えている状況を、重要な機会と捉えている。宿泊施設の改修や事業継承者への課税免除等、支援を引き続き行い、誘客についても、戸狩観光協会と共に推進していく。

財政の現状とジャンプ台のサマー化について



山崎一郎議員

問 過去最大の予算編成だが、自主財源状況は昨年より1.4割も悪化し、市債残高は6年度決算より11億8千万円も増加する。さらに問題なのは基金残高が市長在任の4年間で16億円も減少する見込み。どんな対策で改善を図るか。

答 起債に係る大型事業が多かったこと、国スポ大会関連整備の借入れ予定が約15億円弱あることが、起債の増加の主な原因だが、令和9年度以降借入額は大幅に減少する見込み。基金については、繰越金の活用等により積立てを行って、減少の幅を極力抑えたい。積み増しをするなど、適切な運用を図っていく。

問 ジャンプ台のサマー化により、毎年千人もの選手や競技関係者の来場が期待出来る。関係者の来場が期待出来る。試算だが、最近の大会は種目別に開催地が異なることや、ノーマルヒルを使用した競技に出場する選手は20名程度であることをご存じか。この状況で何億円もの経済効果は期待できないのでは。

答 分散開催の例はあるが、それが全てではない。

教育の本質・令和8年度当初予算・空き家対策



西澤一彦議員

問 教育の本質について

答 何のために生き、この命をどう使うのか。人間力にありふれ、人や社会に貢献出来る力を育てることが大切。歴史に学べば、吉田松陰、高杉晋作、小林虎三郎、丸山邦雄等多くの先人が人生の座標軸を定め、命を奮動させ、人間として最高レベルの生き方をし、社会に貢献された。見解を伺う。

問 人生の荒波を乗り越え、人にも社会にも貢献する力と態度を身に着けた人を育てる教育を推進してまいりたい。

問 令和8年度当初予算

答 予算案は過去最高規模である。飯山市は過去に財政再建団体の経験をしている。財政の出と入りのバランスをしっかりと取ることが極めて大切と考えるが見解を伺う。

問 中長期的な市の将来の姿を見据え、持続可能なまちづくりのため、適切な予算配分を常に検証し、執行していく。

問 空き家対策について

答 職員2名体制で、増え続ける空き家対策に十分か。

答 現状を踏まえた上で、適正な人事配置を行う。

市営住宅の状況連携協定の締結について



岸田眞紀議員

問 現在の水上団地は使い勝手があまり良くないと聞く。今後どんな改修を行うのか。

答 現在の水上団地は建物内に段差や階段がある構造となっており、高齢の方にとっては負担が大きい。今回の改修では居住性の向上を図るため、断熱性能の強化や設備の更新を行い、可能な範囲で段差の解消や安全性の向上を図る計画としている。あわせて現在の生活様式に合った間取りへの変更を検討し、これまで指摘があった不便さの改善を図る。

問 2月9日に「株式会社、ファースト」と連携協定を結んだ。連携事項にはジュニア育成及び各種スポーツの裾野拡大など列記されていた。協定はどんな内容なのか。

答 連携事項のうちジュニア育成及び各種スポーツの裾野拡大については、一流の選手による講演や実技指導への参加により、子どもたちや市民にとって貴重な機会となると考える。またスポーツ施設の有効利用として、市内の各種施設での多様なイベントの企画、運営面での連携も期待できる。

一般質問